

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<https://clanago.com>
プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行
株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテッジビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>



新芸術監督・梶田真嗣

梶田真嗣が芸術監督に就任

塚本洋子が主宰するテアトル・ド・バレエカンパニー(以下TBC)では、設立45周年を契機に運営を一新。梶田真嗣に運営を一新。梶田真嗣

塚本洋子が主宰するテアトル・ド・バレエカンパニー(以下TBC)では、設立45周年を契機に運営を一新。梶田真嗣に運営を一新。梶田真嗣

塚本によれば「名古屋で育った優秀なダンサーの多くが、東京、海外に流出している。それは名古屋に受け皿となる組織がないから。TBCでは新たに『登録ダンサー制度』を設け、バレエ業界の新たなスタイルを確立したい」と熱を込める。

「振付は大変な仕事ですが、得るものも大きい。一方的にダンサーに指示するのではなく、ダンサーの意見やアイデアも柔軟に取り入れることができる指導者でありた

「振付は大変な仕事ですが、得るものも大きい。一方的にダンサーに指示するのではなく、ダンサーの意見やアイデアも柔軟に取り入れることができる指導者でありた

「振付は大変な仕事ですが、得るものも大きい。一方的にダンサーに指示するのではなく、ダンサーの意見やアイデアも柔軟に取り入れることができる指導者でありた

芸術の力で築け地域の未来

「名古屋市芸術賞」「名古屋市民芸術祭賞」授与式



前列左から平田一之(名古屋市文化振興事業団理事長)、さわだ晃一(名古屋市副議長)、LONTO、木下信三(代理)、伊藤美由紀、柴田麻衣、広沢一郎(名古屋市長)。後列左から国枝真才恵、岡本拓也、安元勇人、吉田文、岡崎美奈江、野村七海(代理)、内田好美

舞台芸術部門受賞者の「喜びの声」

「芸術文化が社会を豊かにする。私は芸術文化の力を信じています」。名古屋市長の副議長・さわだ晃一の力強い来賓挨拶に胸が熱くなった。2025年度の「名古屋市民芸術賞」「名古屋市民芸術祭賞」授与式が2月3日、市公館レセプションホールで盛大に開催された(文中敬称略)。

「作曲家」演奏家あつての作曲家。私の曲を演奏して下さる演奏家、公演スタッフの皆さんに感謝します。自主公演「ニフエアル」を通して現代音楽の魅力を広めたい。今後とも真摯に自分に向き合い、新たな可能性を見いだしたい。

「市民芸術祭賞」音楽部門「吉田文、パイオルガンリサイタル」風琴浪漫の知られざる英雄たち」吉田文「芸術には心を豊かにする力があり、音楽を聴き、作家の思いを想像することが、人生を豊かにする力になります。いつまでも、芸術家が安心して活動できる名古屋であってほしいです。」

「演劇部門」ハコトバコ「BRUTE」演出家・安元勇人「ハコトバコを立ち上げて3年半が経ちました。常にやりたいことを、屈せず舞台に上げて来ましたが、すでに次の作品に思いをはせています。」

「演劇部門」劇団サカナデ「この音は、これまで代表・岡本拓也と、たとえ多くの観客の共感を得られなくても、一人の観客に深く突き刺さる作品が出来れば…。それを目指して今後も活動していきます。」

「舞踊部門」アカデミー国枝バレエ「シンフォニー・ファンタスティック」ある男の物語「王幸・国枝真才恵」37年の間、深川秀夫先生とその作品にかかわってききました。先生はよく、ボクの作品を守って、ほいほいとおっしゃいました。今回の受賞で、それが果たせた気がします。ありがとうございます。

ダンスケイト(バレエ&ダンス用品) ~ 移転しました ~
オンライン
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-15-23
10階(1015号) *ライオンズマンション久屋公館10F

8月には100歳「人生はバラ色」
シャンソンの扉
日高一枝

99歳を迎えた日高一枝が「第15回一華会」を開催し、エルムのステージで歌った。

「一華会」開催した日高一枝

「シャンソンは他の歌にはない特徴があり、歌っている人にも魅力がある。今は生かがいになって、ますます話す。エルムでは加藤修滋の指導も受けた。厳しくて、叱られた思いは、はかりでも、優しいさを感じることが増え、良かった。早く歌いがちな私に合わせ、ピアノを弾いてくれましたね」

「パリに抱かれて」黒の舟唄の2曲を歌った。「母を早めに失くし、夫とも死別したけれど、歌と仲間にも恵まれ、今日は孫も来てくれた。今が人生のバラ色です」と笑う。8月には100歳。命の灯が消える時まで、大好きな歌を歌い続けたい。ステージの上でマイクを持って旅立れば幸せです。」

テアトル・ド・バレエカンパニー 新芸術監督・梶田真嗣を迎え新たな展開 登録ダンサー募集

テアトル・ド・バレエカンパニーとスクールは3つのミッションの元、公演活動、人材育成などに力を入れ、内外主要バレエ団で活躍するダンサーの輩出、古典バレエ、現代作品の上演などで一定の成果を上げてきました。設立45周年を契機に新たな運営方針を立て、更なる芸術文化の発展の一役を担う運営方針をたてました。

設立45周年を契機に、新たな芸術監督を迎え、登録制ダンサー制度を発足します。公演には作品委嘱振付家、著名なダンサーを数名招聘しクオリティの高い作品を継続上演していきます。

テアトル・ド・バレエ カンパニー登録ダンサーオーディション
対象 団員=17歳以上 ジュニア=9歳~16歳 (団員、ジュニアとも所属先は問いません)
日時 2026年4月12日(日)
ジュニア 11:00~12:30 団員 13:30~15:00
会場 テアトル・ド・バレエ カンパニー
審査 望月辰夫 塚本洋子 梶田真嗣
審査料 3,000円(当日受付でお支払いください)
お申込み 申込書または、メールにてお申込みください。
メール: info@theater-de-ballet.jp FAX: 052-723-2764
締切 2026年4月5日

新芸術監督・梶田真嗣
伝統に深い敬意を払い、クラシックバレエとコンテンポラリーダンスを、今を生きる芸術として未来へつなげる舞台を目指し、共に創っていきましょう

名古屋名東区上社3-1903
052-739-6155
OPEN 11:00-19:00(水曜日は17:00まで)



「一華会」開催した日高一枝

西川鯉之丞・鯉娘の舞踊公演「ふたり華」

3月28日ビレッジホール
ペア20組を招待!

日本舞踊家で、俳優としても全国で活躍する西川鯉之丞、西川鯉娘が3月28日(正午開演)市民会館ビレッジホールで舞踊公演「第15回ふたり華」を行う。



西川鯉之丞・鯉娘



内田るり千鶴

ほかに那月、弘之丞の「吉野山」、鯉那の「老松」、鯉トシの「夜叉・およげたいやくくん」、鯉葉、鯉希の「夜桜お七」、富久の「都風流ほか。全自由席3000円。TEL052(866)1355。

邦楽の魅力に触れる「寺子屋」

年間10回 東区榎木館で無料開催

「多くの人に、古典芸能に触れる機会を提供したい」。榎木館三味線アカデミーでは長唄や小唄を聴き、三味線に触れることのできる「寺子屋」(年間10回)を開催している。次回は4月5日、次々回



榎木 喜鶴

3月20日到着分まで。5097、マネージメント・プロ。締め切りはる。

イタリア音楽を特集

フィルハーモニー・ウィーン・名古屋
第24回演奏会

3月29日芸術劇場コンサートホール

創設15周年を迎えたフィルハーモニー・ウィーン・名古屋(以下PW N)が3月29日(午後1時30分)愛知県芸術劇場コンサートホールで第24回演奏会を行う。

ウィーン・名古屋(PWN)が3月29日(午後1時30分)愛知県芸術劇場コンサートホールで第24回演奏会を行う。ウィーンフィルの美しい響きを追及するPWNだが、今回は趣向を変え、パワフルなイタリア音楽を特集する。プログラムはヴェルディの「運命の力」序曲、「椿姫」前奏曲、「ナブッコ」序

曲、JシストラウスⅡの「ヴェネツィアの一夜」序曲、「ローマの謝肉祭」序曲、そしてレスピーギの「ローマの噴水」「ローマの松」。指揮はウィーンで研鑽を積んだ若き俊英・水村裕央。全自由席1000円。TEL080(4096)1842。

舞台批評

豪華絢爛、能「鞍馬天狗」の大舞台

宝生会70周年記念別会

演する豪華賢覧の大舞台だった。

名古屋宝生会の70周年記念別会(1月25日・名古屋能楽堂)で、興味深い作品に出合った。あの「鞍馬天狗」である。もともと1920年代に嵐寛寿郎の主演で大ヒットした映画シリーズとは趣が異なる。



「鞍馬天狗」(撮影・公方円)

美しい映像を交え異色の「運命」



40周年記念ベストセレクションコンサート

室内楽アカデミー 日本室内楽アカデミーの40周年記念ベストセレクションコンサートが1月17日、電気文化会館サートホールで開かれた。ピアノの佐々木伊利子、ヴァイオリンの木全利行、ヴィオラの松木健太、チェロの小川剛一郎らおなじみのメンパーに、今回は名古屋屋演奏家育成塾での優秀者、ヴァイオリン大倉彰人、松本陽輝、ピアノ古藍が参加。総勢11人の華やかな陣容になった。最初は大倉と古古が「ヴァイオリン協奏曲第2番」で、卓越した技巧を見せ、育成塾のレベルの高さを披露した。楽しかったのはショスタコーヴィチ「ジャズ組曲」。時に難解と思われる作曲家だが、こんな作品もあることを示した。メインのベートーヴェン「交響曲第5番「運命」(フンメル版)はピアノと弦楽合奏で、普段とは大いに異なる「運命」の魅力が味わえた。大聖堂を思わせる美しい映像が演奏効果を高めた。実力者を集めただけに留まらず、クラシック演奏会の概念を超えた企画構成が光った。(上原)

《推奨公演》

リストアンサンブル



安 賜勳

東海地区で活躍中の声楽家が構成する名古屋リストアンサンブルが4月11日(午後3時)芸術創造センターで第3回公演「響きあう個性が生む、至福の男声合唱」を開催。出演ソリストは安賜勳、上ノ坊航也、岡田尚之、能勢健司、鈴木健司ら総勢11人。ピアノ秀平雄二、パーカッション加藤史也。

曲目は「荒城の月」「千の風になつて」「マイ・ウェイ」「誰も寝てはならぬ」「女心の歌」「闘牛士の歌」ほか多種多彩。全自由席・一般4000円(当日3000円増し)、大学生2000円(同)、中学生1000円、小学生500円。TEL070(4810)1727。

Bel suono musica

素敵な音楽を提供する「Bel suono musica」が4月12日(午後3時30分と6時30分)アーク栄サロホールでコンサートを行う。

プログラムはミニオペラ「伯爵夫人とタマ」(台本、作曲・広瀬正憲)、ハイドン「ピアノ三重奏



愛知 智絵

第25番)、ヴェルディ「椿姫」ヴァレリーさんですか?」ほか。出演は愛知智絵、福井友香、片桐直樹、中村節(ピアノ)、星野順一(チェロ)、水野慎太郎(ヴァイオリン)。全自由席5000円(当日5500円)。TEL070(4369)2692。

「閻魔街道夢ん中」

創作音楽劇の上演で定評の名古屋演奏家ソサエティが4月18日(午後0時30分と4時30分)19日(午前11時30分と午後



出田 光代

3時30分)芸術創造センターで「閻魔街道夢ん中」(作、演出・渕本晴都子、作曲・森彩音、指揮・中村友哉)を行う。

評の名古屋演奏家ソサエティが4月18日(午後0時30分と4時30分)19日(午前11時30分と午後

平和希求ライブ 2026.3.22 sun

歌い手には平和を願う歌を歌う義務がある。
なぜなら平和でなければ文化は育たないから。

open 14:00 start 14:30
charge ¥4,000+ご飲食

初木ちひろ (シャンソン歌手 友情出演)
Tarte (夫婦デュオ)
加藤祐滋 (ピアノ)
テイトモテ (アコーディオン)

理想のシャンソン空間 Cafe Concert **イルム** 名古屋千種区吹上2-4-5
TEL 052-733-0085

小澤寛、人生と人情を巧みに表出



主演の杉村奈々花と小澤寛

「赤毛のアン」

トピアホール)を観劇してそう感じた。

ドラマを見る時、最も感情移入できるのは主役ではなく、自分と同世代の登場人物ではないだろうか。名古屋市文化振興事業団の企画公演ミュージカル「赤毛のアン」(1月23〜25日・ア

指揮は柴田祥、振付は小川こういち。主要キャストはダブルで、私が見たのはアンを杉村奈々花、マッシュを小澤寛、マリラを田島順子が演じたグループ。私が深く感情移

入できたのは同世代の小澤である。カナダ領プリンス・エドワード島の物語。マッシュとマリラは農業を営む兄と妹で、ともに独身で子供はいない。マリラは良識ある堅実な女性、マッシュは高齡で深刻な持病がある。その兄妹のもとに、いささか手の掛かる少女アンが(孤児院から)やって来たのである。兄妹はアンの巻き起こすトラブルに手を焼きたがらも、次第に理解を深め、大切な家族として認め合うようになる。「あなたに出会えてよかった。出会わなければ、今の私はなかった」の言葉が胸を打つ。小澤はマッシュと同化し、歌やダンスでは表現できない人生と人情を穏やかに表出したのである。怒ったり、喜んだり、感激したり、自身の感情をコントロールできない少女、アンを演じた杉村を見て、ある有名な女優を連想した。トットちゃんこと黒柳徹子である。顔立ちまで似ているような気がした。将来楽しみな逸材である。最後に、公演の立案から宣伝、稽古、キャストのサポートに至るまで、数か月間にわたって勢力を注いできた文化振興事業団スタッフに拍手を送りたい。(茂)

度肝抜かれた圧巻のプロローグ

BALLET NEXT

公演ごとに公募オーディションで配役を決めるBALLET NEXTが、芸術監督・市川透の創作パレエ「落葉と薔薇」を上演した(1月18日・芸術創造センター)。2020年に初演、6年ぶりの再演である。

演出家・嶋川幸雄の代表作「近松心中物語」を題材に、二組の男女の(死への)道行をパレエの所作を用いて描いた和洋折衷のエンターテインメント。昼夜ダブルキャストで、私が観賞したのは市村明日香・梶田真嗣、内藤瑞希・山田裕也が主演した「花鳥風月」。

舞台批評

名舞台見せた伊藤、笛田、櫻井

藤原歌劇団愛知公演

大ホールに響き渡る鮮烈な歌声、情感あふれる人間ドラマ。オペラファンに深く刻まれるに違いない、素晴らしい公演だった。藤原歌劇団の愛知公演「妖精ウィッリ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」(演出・岩田達彦、指揮・柴田真郁)である。

「妖精ウィッリ」はブッチーニが初めて書いたオペラで、藤原歌劇団が40年前に初演して以来の再演。おそらく大多数の観客が初めて見る作品である。婚約者に裏切られ命を絶った娘が、死霊となり婚約者を苦しめる。主演したのは澤崎一二と三重真由美の伊藤晴。

澤崎は無防備な田舎育



「妖精ウィッリ」(撮影・愛知県芸術劇場)

二人は同大のオペラでも共演している。笛田は今や日本を代表するテノール

「ルスティカーナ」は、名古屋地区でも度々上演されているマスカニーの大作。「妖精ウィッリ」と同じく「男の身勝手な恋心」をテーマにした一幕ものの悲劇。主役は名古屋芸術大学出身の笛田博昭と櫻井万祐子。

変拍子や和音の効果的な使い方、小節線を感じさせない工夫など、日ごろ楽譜と対峙している音楽家ならではの興味深いエピソードを聞くことができた。ピアノリスト稲熊左江子のモーニング・コンサート「絵画から音楽を紡ぐ」(1月17日・愛知県芸術劇場リハーサル室)写真(左)はドビュッ



市川透の創作パレエ「落葉と薔薇」

遠山事務所

振る舞いで時代と人情を描き出した。中でも下村芝布と市村明日香は巧みだった。

パレエはもとより、音楽文学にも精通し、独自の作品を創作できる市川明(古川博)に度肝を抜かれた。音と光、そしてダンスが主張し合い、調整する。この圧倒的なプロローグに、観客は本編への期待を募らせたのである。

この作品は、死に迫いやられる男女の事情と心情が軸になる。それを若いダンサーたちに表現できるのか…と懸念したが、キャスト陣は情感あふれる立ち居

ダンサーにとっても、多くを学ぶ機会になったはず。休憩を含め3時間。観客はズシリと重い市川パレエに圧倒され、幾つもの名場面を反芻(はんすう)するの(シゲル)。

小紙2月号に「井上ひさしの戯曲は面白いが、演じるのは難しい。中でも『紙屋町さくらホテル』は難しい」と書いた。ところが、さらに難しい戯曲

10人でも迫力あった「第九」合唱

H2ダブルカルテット

なるほど、音楽を楽しむむとは、こういうことか。1月の「YOSÉCON」(29日・愛知県芸術劇場リハーサル室)に登場した「H2ダブルカルテット」のステージを見て実感した。名古屋二期会会員の灰塚弘が主宰するグループで、音楽家10人が出演した写真。メンバーの大半は芸音大で専門教育を受けたスペシャリストだと楽しんでいる。だから聴衆も脱力して音楽を楽しむことができる。(行ったことはないが)イタリアの大衆酒場のようである。



プログラムのJ・シュトラウスⅡ「美しく青きドナウ」をベート・ウエー「第九」(第4楽章)。

前者はオーケストラで聴くことが多いが、コーラスは珍しい。後者は通常大編成のオーケストラと合唱団で演奏される曲。わずか10人の合唱とピアノの「第九」だったが、なかなか迫力があった。とにかく楽しいコンサートだった。

第7期受講生募集

クラシック音楽の若手演奏家が、セルフプロデュース力の向上を目指すプログラム!

7th Season

STAR CLASSES

スター・クラシック・アカデミア

Academia

受付期間:1月6日(火)~4月15日(水)

演奏家として輝くために
~「発掘・育成・支援」の継続的なトータルサポート~

お問い合わせ

スター・クラシック・アカデミア応募受付係
〒460-0006 名古屋市中区葵三丁目21番19号
(株)メコンビジネスアシスト内 TEL:052-938-5557(平日10:00~18:00)
メール info@star-cla.jp ウェブ https://star-cla.jp

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】
(株)マネージメント・プロ
TEL 052(508)5095
郵便振替口座 00880-6-206130

和光写真/衛テス・大阪/瞬三光/Hide Dance Lab./衛ビデオ教材社/松岡伶子パレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木利子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナパレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルパレエ/Rrパレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

女座長を桂元枝が演じた「雪やこんこん」湯の花劇場物語(1月30日)2月1日・芸術劇場小ホール(写真)である。

兎にも角にもせりふが多い。それも通常の会話ではなく大衆演劇の長ぜりふ。しかもドラマはホントとウソが二転三転、たまにつもりがたまさか、とんでもない井上戯曲なのである。

9人の登場人物のうち5人がダブルキャストで私が観劇したのは主役の

なかつた。今回はその汚名返上(?)の名唱だった。カーテンコールでは主人公の母親を演じた牧野真由美が盛大な共感の拍手を浴びた。

(2月7日・愛知県芸術劇場大ホール)

とめ役)を演じた野畑幸治、楽屋番役の柴田亮彦が好演した。野畑は劇中出ずっぱりで、最もせりふの多い難役をこなし、柴田は控えめながら堅実な楽屋番に徹した。二人は役を演じるのではなく、役を生きていたのである。

中でも一座の頭取(まとめ役)を演じた野畑幸治、楽屋番役の柴田亮彦が好演した。野畑は劇中出ずっぱりで、最もせりふの多い難役をこなし、柴田は控えめながら堅実な楽屋番に徹した。二人は役を演じるのではなく、役を生きていたのである。

が微細な部分にこだわらず、それぞれが歌うところ

名古屋市芸術祭授与式(一面に詳細)で、来賓の一人が「芸術文化が社会を豊かにする。私は芸術文化の力を信じています」と述べた。名言ではあるが、いまいち具体性に欠けるのも事実。ところが翌日「ミラノ・コルティナ・オリンピック」の開会セレモニーを見て、芸術文化の力を目的

「誰も寝てはならぬ」の熱唱だった。まさに

に芸術文化の国・イタリアの真骨頂。コロナ渦中に無観客で開催された、どこよらの国の開会式とは雲泥の差があった。それこそ芸術文化力の違いである。

話を冒頭の授与式に戻す。受賞者の一人が「いつまでも芸術家が安心して活動できる名古屋であってほしい」と挨拶した。芸術文化を愛する人々の総意である。(上野茂)

問奏曲

芸術文化の力示したイタリア五輪

「私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します」

青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作
秋田 昌子 北村 哲也 仲条 優理
荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子
飯田みち代 佐藤 典子 名鶴ひとみ
出田 光代 佐藤美智子 西川 長秀
伊藤 修 佐野 和美 野々山保治
伊藤 敬 澤脇 達晴 野村 祐子
伊藤 直樹 白樺 八青 花咲 市岡
稲垣 舞比 まこと 花柳 馨優
衣斐 愛 杉江 瑠美 林 雅仁
今村 早伽 鈴木 幾子 福井 啓子
内田 寿菊 鈴木久美子 淵本晴都子
内田 寿千代 鈴木 文雄 松波千津子
内田 寿晴 須山 仁美 松本 道子
内田のり子 角田真優美 見波 紀子
内田のり美 高倉 麻耶 宮西 圭子
大寺 資二 武市 孝三 山口 雅子
岡田 一男 竹元まき子 吉田 尚弘
岡崎 保彦 田淵友佳理 よしみゆこ
小倉ひろこ 玉田 弘子 渡部 千枝
小野由加利 つつみあつき ほか
金澤 志保 手塚 淑子
蟹江 尾八 戸田美江子

ウィーンの魔法は
何を待たせて

トヨタ・マスター・
プレイヤーズ・ウィーン

日曜劇場・ウィーン国立歌劇場
日曜劇場・ウィーン国立歌劇場自演会・ウィーン・コンサート

2026年3月30日(日)～4月9日(木)

3年ぶりの帰郷！ 新田ウィーンフィルメンバーによる
献上のオケ・アンサンブル5+1

Wiener Cello Ensemble 5+1

2026.4/8(木) 19:00開演 (18:30開演)
電気文化会館 ザ・コンサートホール

ウィーンの伝統の継承者、至高のベートーヴェン

ルドルフ・ブッフビンダー

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 名曲選

4.9

しらかわホール



多彩な打楽器で見事なテクニックを見せた。百々咲彩(どどさあや)と共演したトリアンクルと二重奏(濱口大弥作曲)とタンバリン二重奏(永野正晴作曲)では、大きさの違う同一楽器で面白く聴かせた。

勝諒平(打楽器)
打楽器の楽しさを満喫した勝諒平打楽器リサイタル(2月7日・HITOMIホール)。若手育成のスタークラシック・ガラコンサートで最優秀賞の実力を発揮した。



フラメンコ 森本夏実

チェンバロとの共演も違和感なく

意外な組み合わせに興味を持ったのが、YOS Eコンのフラメンコ森本



夏実&チェンバロ小原道雄(1月29日・県芸術劇場リハーサル室)。「西遊記(スペイン)時」間旅行のタイトルで共演

日香のピアノでラウエル「マ・メール・ロア」や作曲した加藤昌則自身が説明した加藤昌則自身が説明した

CONCERT by WAIVE

名フィルとのコンサートの夕べ

2026.4.14

MASAYA KAMLI

亀井聖矢

ピアノリサイタルツアー2026

4.13

SHUTARO MATSUI

CONCERT HALL LIVE 2026 FRAGMENTS

4.19



美しい牧歌的メロディーで魅了

叶澤尚子(ヴァイオリン) サイタル(2月6日・HITOMIホール)は、20世紀前半のイギリス、ヴィオラ作品を集めた。有名なヴォーン・ウィリアムズ「グリーンズリープス」による幻想曲を冒頭にしながら良かった。メインは女性作曲家でヴィオラ奏者のレベッカ・クラーク。

い作曲は美しい響き。最後の眞敏郎「木琴小協奏曲」は、マリンバの超絶技巧で盛り上がった。

池田真由子

ピアノリサイタル

4.19

加古隆

ピアノソノ

4.25

4.26

ファミリーコンサート

ミハエル・バルケ(指揮) 児玉隼人(トランペット)

ミュンヘン・ゲルトナー・プラッツ 州立劇場管弦楽団

Michael Balke (Conductor)

Hayata Kodama (Trumpet)

Orchester des Staatstheaters am Gärtnerplatz, München

2026.4.30(木) 18:45開演 (18:00開演)

愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定(税込)

S席 10,000円
A席 8,000円
B席 6,000円
U22 2,000円

藤岡幸夫プロデューサー・音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(BSテレ東)から誕生したカルテット

カルテット 深化系 The 4 Players Tokyo

4.10(金) 18:45開演 (18:15開演)

電気文化会館ザ・コンサートホール

マスターズ・クラス・ナゴヤ

福沢特別公演

4/26

GARDEN WINDS

コンサートツアー2026春

庭風音楽会

山本直人

岩瀬浩造

奏でる人を聴きたい人へ 人と音をつなぐ

クラシック名古屋 052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

アイ・チケット 0570-00-5310

(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

お好きな時間に好きな席を選んでクリック

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。